

一度きりの人生、誰しもが後悔のない人生を送りたいものです。しかし、実際は日々何かしら（こうすればよかった、ああしておけばよかった）と考える人も多いことでしょう。

悔いなく生きるにはどうしたらよいでしょうか。人にはそれぞれの価値観や考え方がありますが、「前向きに、今を精一杯生きる」ということが、後悔しない人生にする一つの答えなのかもしれません。

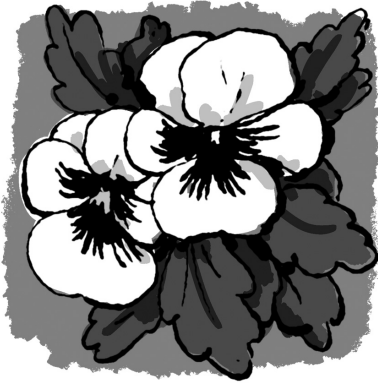
\*

Aさんは大学を卒業後、（人の暮らしの役に立ちたい）との思いから、地元の建設会社で営業職で就職しました。

上司や先輩に同行して様々な現場にも赴きながら、必死に仕事を学んでいきました。しかし、数年たってみると、同僚はすでに役職を得て責任ある仕事を任されていますが、自分はいまだに先輩の補佐にまわつてばかり。大きな仕事を成功させて実績をつくりたいと思うものの、そのチャンスを与えられない今の状況に、悶々とした日々を過ごしていました。

「自分ももっと成長したい、早く独立したい」と直属の上司に相談しましたが、「もう少し仕事を覚えたら担当を決めよう」と言うばかりです。一向に状況が変わらないため、先輩にも相談したところ「そのうち任せてもらえるよ」と、軽くあしらわれてしまいました。

そんなある日、友人に仕事の愚痴をこぼしたところ、「与えられた仕事を、自分にと



## 不平不満の心を捨て 今を精一杯生きる

すべての大切な仕事と受け止めて、精一杯励んではどうだろう。上司や先輩を責め、置かれた境遇に不平不満を言っているだけでは、状況は何も変わらないよ」と言われたのです。友人の話を聞いてAさんは（確かにその通りだ）と納得し、自身の心境を改めました。（与えられた環境の中でベストを尽くせば、きつと道が拓ける）と、考えを新たにし、希望をもって仕事に取り組んでいこうと誓ったのです。

そこで、まず日頃の自分を振り返ることにしました。すると、初心を忘れて努力を怠っていたこと、気分によって仕事にムラがあること、自分の非をなかなか認められず言い訳が多かったことに気付きました。また、それが原因で周囲との信頼関係も築けていかなかったのです。反省点がいくつも見つかり、仕事を任せてもらえないのも当然だと、思わざるを得ませんでした。

初心に帰って再スタートを切ったAさん。反省と改善を繰り返し、どんな仕事も前向きに受け止め、心を込めて取り組みました。それからしばらくして、大型の公共施設の担当に抜擢され、見事にその仕事をやり遂げたのです。今ではAさんは会社で欠かせない存在として周囲から慕われています。

何か不満があるときは、自分が最善を尽くしているか、振り返りたいものです。目の前の相手や、境遇を変えることよりも、まず自分が変わることが、現状を変える一番の近道かもしれません。その積み重ねが、よりよい人生に導いてくれるのです。